

No. 570
2019年
1月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 (03)3851-6100 Fax (03)3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

推薦提出書類

研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：各規程推薦状
フォーム

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>

*論文賞の推薦はありません。

推薦締切日

1. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2019年
1月31日
2. 学生論文賞：2019年3月31日

推薦書送付先：OR学会事務局宛

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

詳細は<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>をご覧ください。

〔研究賞〕

昭和43年（1968年）に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。1. 本学会員であること。2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞金50万円／1名）

〔研究賞奨励賞〕

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。（副賞金20万円／1名）

〔事例研究賞〕

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔論文賞〕

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて（非会員が含まれる場合も全員）を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。（副賞金30万円／1件）

〔学生論文賞〕

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

● 2019年春季シンポジウム（第80回）

日 程：2019年3月13日（水）

場 所：千葉工業大学 津田沼キャンパス

テーマ：「危機管理とOR」

実行委員長：井上明也（千葉工業大学）

事前振込参加費：3月4日（月）締切

正会員・賛助会員：2,000円

学生会員：無料

非会員：3,000円

*非会員の学生の事前振込みはありません。

*本誌1月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。

*欠席の場合、参加費の返金はできません。シンポジウム予稿集をお送りします。

*春季シンポジウム終了後、同会場で開催されるFMESシンポジウムにも参加可能です。

正会員特典利用：3月4日（月）締切

2019年度年会費納入済み個人正会員は、2019年春／秋シンポジウムのうちいずれか1回に無料で参加でき

ます（ただし、事前申込に限る）。研究発表会にも参加の場合は、上記の振替用紙の「正会員無料特典利用」に○をしてください。シンポジウムのみ参加の場合は、特典利用による参加の旨を事務局までE-mailにてお申し込みください。

当日受付参加費：

- 正会員・賛助会員：3,000円
- 学生会員：1,000円
- 非会員学生：1,000円
- 非会員：4,000円

*学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

協賛学会・予定（正会員と参加費同額）：日本経営工学会（JIMA）、日本品質管理学会（JSQC）、日本信頼性学会（REAJ）、研究・イノベーション学会（Jsrpim）、日本設備管理学会（SOPE-J）、経営情報学会（JASMIN）、プロジェクトマネジメント学会（SPM）

参加費関連問合せ先：OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● **2019年春季研究発表会**

日程：2019年3月14日（木）～15日（金）
場所：千葉工業大学 津田沼キャンパス
テーマ：「ORによる価値創造（持続的成長への貢献）」
実行委員長：井上明也（千葉工業大学）
発表申込期間：

2018年12月1日（土）～2019年1月7日（月）

事前振込参加費：3月4日（月）締切

- 正・賛助会員：6,000円
- 学生会員：1,000円
- 非会員：8,000円

*非会員の学生の事前振込みはありません。

*本誌1月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。

*欠席の場合、参加費の返金はできません。アブストラクト集をお送りします。

登壇料：非会員（非会員学生を含む）の方が研究発表をする場合、参加費と別途、登壇料2,000円/件を頂戴します（事前振込・当日受付同額）。

当日受付参加費：

- 正会員・賛助会員：7,000円
- 学生会員：2,000円

非会員学生：2,000円

非会員：10,000円

*学生の方は、受付で学生証の提示をお願いします。

懇親会：

会場：千葉工業大学 津田沼キャンパス1号館20階ラウンジ

日時：2019年3月14日（木）18:00～

懇親会費

事前振込み：5,000円（3月4日（月）締切）

*本誌1月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。

当日受付：6,000円

*当日受付には限りがありますので、なるべく事前にお申し込みください。

見学会：2019年3月16日（土）

場所：千葉工業大学スカイツリータウンキャンパス 東京スカイツリータウンソラマチ8階

見学内容：災害対応ロボット、国際宇宙ステーション 流星観測カメラ、3D宇宙シアターほか

参加費：無料（押上駅までの交通費実費）

*参加希望の方は、研究発表会受付でお申し込みください。

賛助会員の方へ：1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加できます。賛助会員受付にて名刺をご提示ください。（事前の参加連絡は不要です。）ご参加者様については、社内で調整をお願いします。ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りします。

企業展示・出版展示：参加企業募集中

協賛学会・予定（正会員と参加費同額）：日本経営工学会（JIMA）、日本品質管理学会（JSQC）、日本信頼性学会（REAJ）、研究・イノベーション学会（Jsrpim）、日本設備管理学会（SOPE-J）、経営情報学会（JASMIN）、プロジェクトマネジメント学会（SPM）

参加費関連問合せ先：OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● **第34回FMESシンポジウム**

日程：2019年3月13日（水）

（2019年春季シンポジウムとの連続開催）

場所：千葉工業大学 津田沼キャンパス

（2019年春季シンポジウムと同じ会場）

テーマ：「危機管理に向けた経営工学の課題（仮）」

主催者：経営工学関連学会協議会（FMES）

日本経営工学会, 日本品質管理学会, 日本信頼性学会, 研究・イノベーション学会, 日本設備管理学会, 経営情報学会, プロジェクトマネジメント学会, 日本オペレーションズ・リサーチ学会 (順不同)

参加費: 無料

プログラム:

- (1) 「JR東日本の危機管理 (仮)」
石田昌也 (JR東日本危機管理室長)
- (2) 「浦安市の危機管理 (仮)」
河井繁樹 (浦安市役所危機管理監)

参加申込方法: OR誌1月号級じ込みの振替用紙を利用し, FMESシンポジウム「参加」に○をして, シンポジウム・研究発表会とあわせてお申し込みください。FMESシンポジウムのみ参加の場合は, 春季シンポジウム特設サイト (<http://www.orsj.or.jp/~nc2019s/index.php/symposium/>) よりお申し込みください。

参加費関連問合せ先: OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 研究部会・グループ開催案内

〔危機管理と防衛のOR〕

・第17回

日時: 2019年1月25日(金) 15:30~17:30

場所: KKR箱根宮の下ホテル

(〒250-0402 神奈川県足柄下郡箱根町木賀1014)

テーマと講師:

- (1) 「住民投票を前提とした施設立地場所の性質」
鶴飼孝盛 (防衛大学校)
- (2) 「ハイリスク時代のOR技法に求められるもの—知恵のシェアを目指して—」
東原紘道 (東京大学 名誉教授)

● 新宿OR研究会

〔第384回〕

日時: 2019年1月15日(火) 12:00~14:00

講師: 柳内延也氏 (東海物産(株))

テーマ: 「活性酸素消去食品 (仮)」

場所: OR学会事務局会議室

(千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F)

<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

参加費: 2,000円 (昼食代を含みます。事前にメールにてお申し込みください。)

詳細: <http://www.orsj.or.jp/activity/others.html>

問合せ先: 日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

〔第385回〕

日時: 2019年2月19日(火) 16:30~18:00

講師: 山田修一氏 (NECネットエスアイ(株))

テーマ: 「プロジェクトマネジメントスタイル最適化アプローチとOR理論の応用」

懇親会: 18:00~20:00

会場: 北出食堂

その他, 上記と同じ (場所は事務局)

● 他学協会協賛案内

*OR学会が, 共催・協賛・後援する大会やシンポジウムの情報です。参加費など, 詳しくは主催学会にお問い合わせください。

・2018年度第1回信頼性フォーラム

日程: 2019年1月21日(月) 13:00~18:00

場所: 東京理科大学森戸記念館第1フォーラム

主催: 日本信頼性学会

WEB: <https://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=102>

・第3回「エネルギー学」部会シンポジウム

日程: 2019年3月1日(金)

場所: 国立研究開発法人産業技術総合研究所 臨海副都心センター

主催: 日本エネルギー学会「エネルギー学」部会

WEB: <https://www.jie.or.jp/publics/index/660/>

・日本ソーシャルデータサイエンス学会第5回シンポジウム

日程: 2019年3月2日(土)

場所: キャンパスイノベーションセンター東京 (CIC)

主催: 日本ソーシャルデータサイエンス学会

WEB: <http://www.jsdss.org/>

2018年度待ち行列シンポジウム「確率モデルとその応用」

2019年1月23日(水)～25日(金)

早稲田大学 本キャンパス 小野記念講堂(東京都新宿区)

質疑応答5分を含め 一般1人あたり30分, 学生1人あたり25分, ショート1人あたり20分

*=発表者(複数著者の場合)

1月23日(水)

13:30 開会にあたって 笠原正治(奈良先端科学技術大学院大学)

Session W1 (13:40～14:30) 学生セッション 座長:木村達明(大阪大学)

13:40 客のグルーピングのある待ち行列の安定条件:ドリフト条件による導出

*松尾容典, 鶴見星花, 塩田茂雄(千葉大学)

14:05 A downlink heterogeneous cellular network model with intra- and inter-tier correlated base station locations

*小林拓矢, 三好直人(東京工業大学), Dhillon Harpreet S. (Virginia Tech)

Session W2 (14:55～16:25) 一般セッション 座長:増山博之(京都大学)

14:55 A Markov Model of Eusociality at its Origin

*豊泉 洋(早稲田大学), Jeremy Field (University of Exeter)

15:25 Correlations of interference in non-Poisson networks under spatially correlated shadowing

木村達明(大阪大学)

15:55 SMTソルバを用いた確率ベトリネットのパーフェクトサンプリングアルゴリズム

*岡村寛之, 森原和也, 土肥 正(広島大学)

Session W3 (16:50～17:30) ショートペーパーセッション 座長:加藤憲一(神奈川大学)

16:50 ハウスドルフ一次モーメント型トラフィックモデルの性能評価に対する不完全性

高田寛之(長崎大学)

17:10 Queues driven by level dependent Levy processes

Czarna Irmina (Wroclaw University of Science and Technology), Perez Jose Luis (CIMAT),

Rolski Tomasz (University of Wroclaw), *Yamazaki Kazutoshi (Kansai University)

懇親会(18:00～20:00) 司会:増山博之(京都大学)

1月24日(木)

Session T1 (9:30～10:30) ショートペーパーセッション 座長:岸 康人(松蔭大学)

9:30 真社会性昆虫の基本再生産数

*石井諒太郎, 豊泉 洋(早稲田大学)

9:50 乗車時間を考慮したタクシー待ち行列モデルの解析

*巻野侑大, Phung-Duc Tuan (筑波大学)

10:10 閉園時刻直前のアトラクション巡回法

*鶴田裕太郎, 佐藤真史, 豊泉 洋(早稲田大学)

Session T2 (10:55~12:35) 学生セッション 座長：岡村寛之 (広島大学)

- 10:55 木構造を持つ一製品多工程拡張かんぱんシステムの解析
島先孝太郎 (東京工業大学)
- 11:20 M/G/1型マルコフ連鎖に対するレベル増分切断近似の収束性
*大内克久, 増山博之 (京都大学)
- 11:45 待ち行列モデルを用いた宅配ボックスサービスの性能解析
*日出山慎人, Phung-Duc Tuan, 岡田幸彦 (筑波大学)
- 12:10 マルコフ連鎖における条件付き定常分布の線形不等式系による特徴づけ
*木村雅俊, 滝根哲哉 (大阪大学)

12:35~14:05 昼休み

Session T3 (14:05~15:20) 学生セッション 座長：井上文彰 (大阪大学)

- 14:05 大数の法則を用いたトラス上の非線形データ拡散モデル
*渡辺 樹, 豊泉 洋 (早稲田大学)
- 14:30 再試行型待ち行列を用いた単一チャネルコグニティブ無線の解析
*阿久津康平, Phung-Duc Tuan (筑波大学)
- 14:55 移動体通信におけるtime-basedなハンドオーバー制限のモデルとその解析
*徳山喜一, 三好直人 (東京工業大学)

特別講演 (15:45~16:45) 座長：笠原正治 (奈良先端科学技術大学院大学)

待ち行列における到着間隔あるいはサービス時間の変動増加はシステム混雑を増加させるか?
町原文明 (東京電機大学)

1月25日(金)**Session F1 (9:30~10:30) ショートペーパーセッション 座長：井家 敦 (神奈川工科大学)**

- 9:30 客のグルーピングのある待ち行列の安定条件：Fosterの定理による導出
*鶴見星花, 松尾容典, 塩田茂雄 (千葉大学)
- 9:50 短期貸出客を優先処理する図書館の貸し出し図書の待ち行列
*白木詩乃, 塩田茂雄 (千葉大学)
- 10:10 飲食店における客席案内戦略に関する考察
*野田脩平, 塩田茂雄 (千葉大学)

Session F2 (10:55~11:55) 一般セッション 座長：小林正弘 (東海大学)

- 10:55 M/G/1待ち行列における待ち時間制約と滞在時間制約の比較
井上文彰 (大阪大学)
- 11:25 メッセージ分割が発生する時のペイロード長が平均応答時間に及ぼす影響—バースト的にパケットが到着する場合—
池川隆司 (早稲田大学/東京大学)
- 11:55 待ち行列研究部会研究奨励賞 受賞者発表 笠原正治 (奈良先端科学技術大学院大学)
閉会にあたって 笠原正治 (奈良先端科学技術大学院大学)

2018年度第3回 ORセミナー

「因子分析とその発展—無形概念の測定から概念間の関係性分析まで—」

開催趣旨：回帰分析が観測変数間の構造解明を前提にするのに対して、因子分析は、観測変数の背後で観測変数に影響を与えている変数を想定した潜在構造の解明を目指しています。因子分析は、20世紀初頭のSpearmanの論文により、無形概念である一般知能因子の測定を可能とするモデルとして提案され、計量心理学を生誕させる原動力となりました。セミナーの前半では、因子分析を他の代表的な統計的方法と比較したり、因子分析自体のバリエーションを紹介したりすることで、その適用範囲や使い方を示します。セミナーの後半では、因子分析と構造分析とを結合した、適用範囲が因子分析に比べて大きくなる共分散構造分析（線形潜在構造分析）についても、その考え方と使い方を紹介します。

日時：2019年1月12日（土）10:15～17:45

会場：筑波大学東京キャンパス文京校舎 134講義室

東京都文京区大塚3-29-1（東京メトロ丸の内線茗荷谷駅下車「出口1」徒歩5分程度）

http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html

コーディネータ：黒木裕介（元 研究普及委員）

プログラム

10:15～10:20 開会挨拶 黒木裕介

(1)「因子分析の考え方と実践」 榎 広計氏（独立行政法人統計センター 理事長）

10:20～11:15 「多変量相関構造の要約：回帰分析，因子分析，主成分分析」

11:25～12:20 「グラフィカルモデリングと因子モデリング」

13:20～14:15 「探索的因子分析と検証的因子分析」

14:25～15:20 「データ解析としての実装」

(2)「因子分析の発展：共分散構造モデリング」 小島隆矢氏（早稲田大学人間科学学術院 教授）

15:35～16:30 「因子を用いた共分散構造モデルのご利益」

16:40～17:35 「因子を用いた因果モデリングの実際」

17:35～17:45 閉会挨拶，アンケート記入

参加費（テキスト代込）：正・賛助会員（協賛学会員を含む）5,000円，学生会員1,000円，学生非会員1,500円，非会員20,000円。

※当日欠席された場合、参加費の返金はありません。後日テキストを郵送します。

ORセミナー参加者特典：一般、学生を問わず会員でない方は、入会金無料で入会でき（正会員／学生会員となる）、2018年度・2019年度の年会費は免除されます。ご希望の方は、参加申込メールに「ORセミナー参加者特典」利用による入会希望とお書き添えいただくとともに、OR学会WEBの入会申込のページより入会手続きをしてください。（入会申込：<http://www.orsj.or.jp/whatisor/admission.html>）

申込先：日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

お名前（ふりがな）、ご所属先、正会員／学生会員／賛助会員／協賛学会員／非会員／学生非会員、お支払予定日を記入してメールにてお申し込みください。

申込・振込み締切：2018年12月25日（火）※受付は終了しました。

振込先：みずほ銀行 根津支店（店番号235）普通1530801 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会協賛学会（正会員と参加費同額）：日本経営工学会（JIMA）、日本品質管理学会（JSQC）、日本信頼性学会（REAJ）、研究・イノベーション学会（JSRPIM）、日本設備管理学会（SOPE-J）、経営情報学会（JASMIN）、プロジェクトマネジメント学会（SPM）

詳細は、OR学会WEBページ <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html> をご覧ください。

2019年度年会費納入のお願い	
<p>2019年度（2019年3月1日～2020年2月29日）年会費の請求書を11月に発送しました。このうちよの支払取扱票は、2019年1月以降もご使用可能です。</p> <p>大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名+個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。</p>	
<p>OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。</p>	

年会費専用振込み口座	
みずほ銀行	根津支店（店番号235）普通1124744 口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会 シヤ ニホンオペレーションズリサーチ ガツカイ
郵便振替口座	00190-6-79492 口座名：(公社)日本オペレーションズリサーチ学会
ゆうちょ銀行	○一九（ゼロイチキユウ）(店番号019) 当座 0079492 口座名：(公社)日本オペレーションズリサーチ学会
年会費（不課税） 正会員 14,400円 学生会員 5,000円 シニア会員 7,200円 *手数料は払込人様ご負担をお願いします。 *お名前はフルネームでお書きください。 *所属機関からお支払の場合は、対象の個人会員名と所属機関を事務局にお知らせください。	

シニア会員について
<p>正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。</p>

特別会員について
<p>正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。</p>

年会費の口座振替（正会員）
<p>年会費自動振替の方は2019年1月22日に「2019年度年会費」を引き落とし予定です。</p>

2019年3月ご卒業の学生会員の方へ
<p>1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ 新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。 2019年度の会費はそのままです。2019年11月に2020年度正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。</p> <p>2) 退会希望の方へ 退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。</p>

学生会員年会費無料化キャンペーン
<p>OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。</p> <p>1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。</p> <p>①WEBからの入会申込み ②入会金600円のお振込み ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）</p> <p>以上3点をもって、無料化受付が完了します。</p> <p>2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。</p>

OR学会事務局
E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055 *各種お届けは、メールにてご連絡ください。 （住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届） 会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。